

## 第5回 理事会（書面）要旨報告

日 時 令和5年12月18日（月）

審議事項

### 1. 事務局職員の令和5年度後期賞与について

理事総数 19名（提案者のため会長を除く）

反 対 0名

賛 成 19名

令和5年度後期賞与について協議した結果、総務委員会からの答申内容の通りとし、12月25日に支給することが承認された。

## 第6回 理事会 要旨報告

日 時 令和6年2月2日（金） 13:00～16:40

場 所 スパリゾートハワイアンズ（いわき市）

出席者 理事19名 吉田会長、田中、菱沼、榎田、真船、鈴木副会長、菅野専務理事、白岩、村山、一條、草野昌利、新田、御代田、渡部、二瓶、加藤、飯高、新宅、草野智正理事

欠席者 理事 1名 菊地理事

審議事項

### 1. 令和6年度の事業計画・予算案の大綱（案）について

各委員会等で令和6年度の具体的な事業計画（案）及び予算（案）を3月までに検討する。各委員会等からの予算（案）を総務委員会で全体の予算（案）を策定し、5月の理事会で検討する。

なお、令和5年度の単年度の収支状況は、様々な要因により前年度より悪くなる見通しであるため、令和6年度予算の策定にあたっては、単年度収支の健全化を実現すべく各委員会等で予算額を削減していくこととなった。予算の削減にあたっては、各種事業等の開催の頻度・方法等の見直し、その他、関係する委員会等の合同開催など、前例にとらわれない発想でいろいろ工夫していくこととなった。

### 2. 事業見直しと各種会議の運営等について

会議や研修会等の合同開催や隔年開催なども含め柔軟な事業、会議運営委の見直しを検討する。

### 3. 能登半島地震の支援等について

激甚災害に指定された今般の能登半島地震について、連合会の対応は、石川県会を中心とした被災4県（石川、富山、福井、新潟）会に災害見舞金の支給や連合会会費の減免のほか、「石川県」へ寄付金を送っている。

当県会における対応について、会長からの求めに応じ種々の意見が交わされ、①当県会の単年度収支の悪化等財政がひっ迫しており、財政健全化が優先されるべき厳しい現状にあること、②北海道・東北地協のいずれの単会からも支援を行っていないこと、等に鑑み、最終的には会長決裁により県会としての支援は見送ることとなった。なお、個人の支援を制限するものではない。

4. 政連からの2つの新規事業に係る令和7年度以降の予算要望について

要望した子育て関連業種への労務管理支援事業、ハラスメント防止事業について、福島県の予算がついた場合には、事業に関わる費用、運営のための諸経費を考慮し実施する。

なお万が一、政連で要望している令和6年度福島県予算が通らなければ、令和7年度以降の福島県予算に関しての要望は、当面の間見送ることとなった。

5. 事務局職員の賃金等について

令和7年度から適用できるように総務委員会で昇給等のスキームを作る。

令和6年度の昇給については、予算の総枠の中で検討する。

6. 令和6年度働き方改革推進支援事業について

事業の予算総額が約7%縮小された。落札できるよう入札に参加する。

7. 第47回定時総会について

第47回定時総会を以下のとおり開催する。

日時 令和6年6月7日（金）

場所 スパリゾートハワイアンズ

例年同様、来賓をお招きし、総会後には懇親会を開催する。

8. 苦情処理について

12月に苦情の申立があり、双方の聴き取りを行い、会則に基づく注意、勧告、処分のいずれにも該当しないものと判断されたので、対象社労士に対し口頭により注意を行った。

9. 各委員会等、全国社労士会連合会・同地協の経過報告について

広報委員会からキャッチコピー、月間情報の名称を2月末まで募集していることが報告された。年金事務所との拡大会議を3月8日に開催するので、年金関係の要望等があれば支部経由であげてもらいたい。

10. その他

(1) (公財)福島県私学教職員退職金財団の理事推薦の依頼について

社労士としての専門性を活かせる充て職かと思われるが、種々協議した結果、今回は県会としての推薦は見送ることとなった。なお、今後、外部団体等から充て職の推薦依頼があった場合については、次の要素を考慮して都度決定することとなった。①当該団体が官か民か、②社労士としての専門性が活かされるか、③旅費、謝金の有無と額、④他職との整合性や永続性、他。ちなみに今般の充て職オファーは、交通費のみの支給で謝金なしであった。

(2) 今後の日程について

5月10日に次回理事会を開催する。